

# あわら市総合振興計画後期基本計画（案） 提出された意見の概要と市の考え方

意見公募期間：平成24年1月23日～2月10日

	意見の概要	市の考え方	原案修正の有
1	<p>「新幹線開業に向けた周辺整備」では、北陸新幹線の早期開業に向けた取り組みが記載されているが、並行在来線に対する考え方が書かれていない。並行在来線のあり方についても記載すべきと思う。</p>	<p>ご指摘いただいたように、北陸新幹線の開業に伴いJRから経営分離される並行在来線の運営は、沿線自治体のみならず、福井県全体の重要な課題です。このため、「新幹線開業に向けた周辺整備」の現状と課題の中で、並行在来線への対応の重要性について記述し、解決すべき課題として明らかにしていきます。</p>	有
2	<p>後期基本計画には目標値が設定されているが、前期計画ではどのように設定されていたのか。また、前期計画の評価をどのように行っているのか。</p>	<p>前期基本計画では、目標の数値化を行っていませんでした。このため後期基本計画では、各施策における目標値を設定し、施策の達成状況を客観的に判断できるようにしました。 なお、前期基本計画の評価については、計画期間中に実施し成果を上げている主な事務事業を、各プロジェクトごとに分類し、後期基本計画の冒頭で紹介することとしました。</p>	有
3	<p>JR駅前や温泉街には活気がない。温泉街は、広場の整備によってにぎわい復活の兆しが見えてきたが、JR駅前は依然さびれたままである。市のてこ入れが必要。</p>	<p>JR芦原温泉駅西口については、北陸新幹線金沢開業を視野に入れ、旧工場跡に整備するにぎわい広場や(仮称)生涯学習館など、にぎわいづくりのための整備を進める予定です。また、整備後のソフト事業についても、市民の皆さんの協力をいただきながら共働で展開したいと考えています。</p>	無
4	<p>人口減少と高齢化は、あわら市だけでなく、わが国の深刻な問題である。ただ、それを憂えているばかりでは何の解決にもならない。 一方で、少子高齢化のメリットというものも必ずあるはずである。ネットで調べると、「労働力の稀少化に伴う実質賃金と生活水準の向上」「特定職種における就労機会の向上」などが高齢化のメリットとしてあげられていた。視点を変えて、こうした社会情勢の先を見込んだ、マイナスをプラスに転じるような計画を作ってみてはどうか。</p>	<p>ご意見をいただきましたが、やはり人口や若年層の多さが自治体の活力維持の要因の一つであることは否定できません。このためあわら市では、「若い世代が、住み、生み、育てたくなるまち」を重点政策に掲げ、HEECE構想を政策実現のためのツールとして、各種事業を進めているところです。また、後期基本計画においても、こうした考え方を鮮明に打ち出しています。 したがって、現時点でお寄せいただいてご意見を後期基本計画に反映することは困難と考えますので、ご理解下さるようお願いいたします。 なお、少子高齢化を肯定的に捉えるというような逆転の発想は、多角的な政策検討にきわめて有効であると思いますので、今後の政策への反映などについて引き続き検討していきたいと思っております。</p>	無